

もりふれ倶楽部通信 NO. 30

夏椿（なつつばき、しゃらのき）

NPO 法人もりふれ倶楽部 理事長 槇原道夫



祇園精舎の鐘の声 諸行無常の響きあり 沙羅双樹の花の色 盛者必衰の理をあらわす
おごれる人も久しからず ただ春の夜の夢の如し

有名な平家物語(作者不詳、1,200 年代・鎌倉時代作) の冒頭の部分です。

古来、沙羅双樹の解釈についても様々あるようですが、お釈迦様(仏)が死去したときその臥床を取り巻く四隅に 2 対 4 本の沙羅の木があったとのこと。この沙羅の木についてはフタバガキ科の熱帯性の高木で日本には無い(ラワン材として輸入されている)ものであり、その代用として各地の寺院にナツツバキが沙羅の木として植えられたそうですが、仏様と縁の深い木であります。

最近では幹の表皮が薄片状に剥げ落ち、灰白色と赤褐色の斑紋状になって見ごたえがあり、ツバキ科特有の花、端正な若干紅葉もする枝葉等から庭木としても珍重され、各所

で見られる様になりました。我が家にも1本植えておりますが、昨年は端正な花をつけてくれたのに、今年は花がひとつもつきません。なぜでしょうか？

昨年9月 所用により上京したさいに、富士山が見たくなり、急きょ箱根に向かいました。

登山電車を乗り継ぎ、さらにロープウェイでの空中散歩により、少し雲がかかって100%の雄姿を見ることはできませんでしたが端麗にして雄大なスロープを持つ姿を堪能しました。また車窓から眺める山地帯から亜高山帯にまたがる植物の垂直分布の様子を見ることができ興味津々でした。特に温帯林を構成する柔らかい感じの落葉広葉樹の葉身、少し色づき始めた紅・黄葉の様子がなんともいえない温かみを与えてくれました。

多種の落葉広葉樹の中に、高木で幹肌の色が赤みを帯びサルスベリ状の美しい木を多数見かけました。ヒメシャラです。神奈川県天然記念物に指定されているそうですが、花の時期が7月で径2センチくらいの白い椿の花(お茶の花といったほうがびんと来るかもしれません)をつけた様子を想像しながら眺めました。

この白い椿の花の径が5~6センチと少し大型になるのがナツツバキです。中国山地でも600メートル以上の山地でたまに見かけます。

リョウブに似た木肌、サルスベリの別名を持つように滑らかな幹肌、家の床柱としても珍重され、また様々な工芸にも利用されている様です。

ツバキ科 (ナツツバキ属、ツバキ属、ヒサカキ属、サカキ属、モッコク属 があります)

* 落葉樹。樹皮は黄褐色または赤褐色でなめらかで芽は平たい。種子には狭い翼がある。

ナツツバキ属 . . . ナツツバキ。ヒコサンヒメシャラ。ヒメシャラ。があります。

* 常緑樹。樹皮は暗灰色または灰黒色。種子に翼がない。

ツバキ属 . . . チャノキ。ツバキ。サザンカ。があります

* その他、モッコク属 モッコク。 サカキ属 サカキ。 ヒサカキ属 ケヒサカキ。

ヒサカキ。ハマヒサカキ。があります。(保育社 日本樹木図鑑より)

田舎暮らしのススメ ～ なつかしの国 石見 から ～

邑智郡川本町在住 福代美保

レポート 26

やねだん（鹿児島）阿蘇一の宮（熊本）視察

4月早々強引に仕事を休んで鹿児島の大隅半島にある

「やねだん」集落の視察を企画して地元三原の人々や役場と行きました。

行政に頼らないまちづくりに取り組む「やねだん」リーダーの豊重さんの話を現地でこっぴり3時間聞きました。



コミュニティービジネスによって、自主財源を稼ぎ、奨学金、イベント、老人の安否確認など集落事業を展開しています。芸術家を7人招き、彼等が食べていけるよう、教育に活用してアルバイト代を渡したり様々な知恵を使っています。

人口は増え、高齢化率も減少している恐るべし。年間5000人の視察者が訪れる。

教えてもらったこと

隣人をボランティアで使ってはならない

できる人だけが頑張るとそのうち事業は衰退する

沢山の人が参加する仕組み作りを

10m100mの範囲の人々をまず大切に

1人の後ろに10人のファミリーがいる

コミュニティー活動に資金獲得の事業を入れること

お金がないと続かない

反目者は必ず居る

まず、反目者の希望を聞く、それでもダメなら

孫を活動に参加させよ



レポート 27

やねだん（鹿児島）阿蘇一の宮（熊本）視察

視察2日目は阿蘇の一の宮「阿蘇神社」の門前町に行きました。
ここでも、熱血商工会長さんから説明を受けました。

土日にはシャッターが閉まり、道に横になっても車にさえ轢かれないほど、人通りがない街を見て立ち上がった商店街の人々。



夜市の富くじのイベントから商店街の盛り上げに取り組み、町から補助もなく15年後には賑う街を作りあげた。成功の秘訣は「やる気」

この日は年に一度の「門桜」(もんろう)のイベントの日。畳300枚を敷きテーブルを置いた桜の花見を楽しむ。時間が経つと人が沸いてきて通りに人があふれ出しました。

レトロな街並みに、骨董市と屋台が並んでいます。おしゃれなお店も並ぶ、人が人を呼ぶ好循環まちづくり。

商店を続け地元の人々の買い物環境を維持するために、あえてレトロ商品を並べて個性を出す、会長の時計屋。地元の人々の為に普通の時計も店の片隅に置いてある。



会長曰く「僕らが売るのは人」 何事も人材ですな。

ブログ 明るい農村かわもと <http://920665u.blog94.fc2.com/> ご覧下さい

平成23年度 もりふれ倶楽部の歩み

4月21日(木)～22日(金) 島根県林業公社林業新人研修対応
島根県林業公社主催、森林組合新規採用スキルアップ研修の中で、
元森林組合作業班に所属していた事務局長の野田が講師を務めさせて
いただきました。



4月24日(日) 第1回大人のための自然観察会

ふるさと森林公園において、第1回大人のための自然観察会を開催しました。
公園の中は春の花でいっぱいでした。この日見られた植物の写真は、HPにア
ップするとともに、学習展示館に掲示しています。どうぞ、ご覧下さい。

指導 中村正志 ボランティア 百合澤博文

4月29日(金) 2011森の誕生日

島根県・宍道湖西岸森と自然財団・島根県緑化推進委員会と協同主催
「森の誕生日2011」を開催しました。約8千人が来場し、ステージ
を含め、森の大切さをPRする様々なイベントが行われました。
会員でご協力をいただきました皆様

洲濱寿晴、岡田邦博、中村正志、坂本英希、福岡茂明、
松本尚子、響繁則、榎原道夫、宮崎照、宮崎詠二、竹田正彦、
伊原千里、谷口枝里子、小林玲子、野々村俊成、三枝鋼一、三枝共子、河上岳裕
長野和秀、稲岡英治、百合澤博文、藤田健一、小島郁子、大島重昭、内田百合子
玉木麗子、野田真幹、宮崎徳子



5月1日(土) もりふれ倶楽部通常総会

総会に先立ち、「知ってるようで知らない 出雲の自然のすばらしさ」と
いうテーマで、佐藤仁志氏に講演をしていただきました。



5月6日(金) しまね森づくりコミッション出前講座1

しまね森づくりコミッションの出前講座の一環として、奥出雲町立阿井
小学校の4, 5, 6年生約40名に対して、第1回目の森林教室を開催し
ました。今回はもりふれ倶楽部会員であり、東京から来られていた(株)
国土防災技術緑環境事業部長で、土壌の権威である田中賢治氏を指導者と
して参加し、子供たちにわかりやすく森林土壌の話もされました。天気
にも恵まれ、子供たちは大喜びでした。 指導 田中賢治、瀧瀬裕美、野田真幹



5月8日(日) 奥出雲町阿井小学校対応

奥出雲町立阿井小学校全校生徒約60名に対して、森林保全の大切さを
伝える話と木切れ工作体験の指導を行いました。生徒は1～6年生混成
5チームに分かれ、それぞれ、島根県森林インストラクター等の指導によ
り、動物等を作成しました。 指導 内田百合子、谷口枝里子、松本尚子、野田あや子、野田真幹



5月8日(日) 第1回里山自然塾

「第1回里山自然塾～里山の宝、山菜を学ぼう」が開催されました。オー
プニングで、自然が人の生活を含めて循環している里山のすばらしさや現在
の問題について学んだあと、34名の参加者は3グループに分かれて、園内
を散策し、意外なものも含めて、食べられる山菜・野草を採取しました。
そして、奥出雲産の山菜とともに、天ぷらにしておいしくいただきました。

また、奥出雲で子どもころから山菜を食べてきた響氏から、その特徴や様々な食べ方、人との関り
について学びました。

講師 響 繁則、榎原道夫、中村正志、野田真幹

ボランティア 木村京子、角田祐子



5月11日(水)しまね森づくりコミッション出前講座2

しまね森づくりコミッションの出前講座の一環として、奥出雲町立布勢小学校3,4年生15名に「森林の大切さの講義」と「ネイチャーゲーム」の指導をおこないました。 指導 野田真幹、宮崎徳子



5月13日(金)しまね森づくりコミッション出前講座3

しまね森づくりコミッションの出前講座の一環として、大田市立志学中学校全校生徒15名に「森林の大切さの講義」と「ネイチャーゲーム」の指導をおこないました。 指導 野田真幹、宮崎徳子

5月15日(日)里山ものづくり体験

島根県立ふるさと森林公園学習展示館の来館者の希望者に対して「木の実工作体験」の指導をおこないました。島根県森林インストラクターの野々村俊成氏が、親子連れを中心に、次々に訪れる参加者に1日を通じて作品づくりの手ほどきをおこないました。この「木の実工作体験」は、平成23年5月22日の山陰中央新報「りびえる」の「子育てランド」で紹介されました。 指導 野々村俊成



5月23日(月)しまね森づくりコミッション出前講座4

しまね森づくりコミッションの出前講座の一環として、吉賀町立柿木小学校5年生16名に「森林の大切さの講義」と「和紙づくり体験」の指導をおこないました。 指導 野田真幹 スタッフ 安達美香(アンダンテ21)

5月24日(火)雲南市立西日登小学校対応1

雲南市立西日登小学校5年生に対して、学校林で、ネイチャーゲーム指導を行いました。生徒達は、この日習った2つのネイチャーゲームを全校生徒に体験してもらうとの事です。この事業は緑の募金の助成を得て行われています。 指導 野田真幹、宮崎徳子



5月28日(土)第2回大人のための自然観察会

ふるさと森林公園において、第2回大人のための自然観察会を開催しました。新緑の園内で、自然との多彩な出会いを体験することが出来ました。この日見られた植物の写真は、HPにアップするとともに、学習展示館に掲示しています。どうぞ、ご覧下さい。 指導 中村正志 ボランティア 百合澤博文



5月30日(月)しまね森づくりコミッション出前講座5

しまね森づくりコミッションの出前講座の一環として、飯南町立赤名小学校5年生18名に「森林の大切さの講義」と「和紙づくり体験」の指導をおこないました。 指導 野田真幹、宮崎徳子

6月1日(水)しまね森づくりコミッション出前講座6

しまね森づくりコミッションの出前講座の一環として、川本町立三原小学校全校生徒10名に「森林の大切さの講義」と「和紙づくり体験」「ネイチャーゲーム」の指導をおこないました。 指導 野田真幹



6月5日(日)第2回里山自然塾

島根県からの委託事業「第2回里山自然塾～里山の樹木を学び、エンジュの木で箸をつくらう!」を開催しました。参加者21名は園内を散策しながら樹木について学んだ後、島根県森林インストラクターの大島重昭氏の指導でエンジュの木で箸づくりに挑戦しました。 講師 大島重昭、中村正志



6月8日(水)しまね森づくり Kommission 出前講座 7

しまね森づくり Kommission の出前講座の一環として、江津市立桜江小学校4年生22名に「森林の大切さの講義」と「木切れ工作」の指導をおこないました。 指導 野田真幹、国井加代子



6月11日(土) 森林ボランティア(飯南町)

飯南町下島島の「セラピーの森」において、「1日限りの作業班」シリーズの一環として、間伐後生えてきた実生苗から次世代として残す木をマーキングする作業を行いました。この事業には、緑の募金が使われています。 スタッフ 野々村俊成、青木宣雄、穂井田頼、田口孝道、榎原道夫、和田秀夫、中村正志

6月12日(日) 第1回森林ボランティア講座

島根県立ふるさと森林公園での国際森林年記念イベントとして、第1回森林ボランティア講座「森の健康診断を学ぶ」を開講しました。受講者は2班に分かれて、小雨の降る中、熱心に全国共通の森の健康診断を体験しました。 講師 田口孝道、中村正志、野田真幹



6月13日(月) みもスクール

島根県東部農林振興センター雲南事務所林業普及グループと協働で、雲南市立西小学校4年生33名に対して、第1回みもスクールとして、「樹木学習」指導をおこないました。

指導 榎原道夫、中村正志、福岡茂明、響繁則、野田真幹

6月13日(月) 奥出雲町阿井公民館対応

奥出雲町阿井公民館において、小学校16名に対して、竹細工指導をおこないました。 指導 野々村俊成、妹尾明美



6月18日(土) 第3回大人のための自然観察会

ふるさと森林公園において、第3回大人のための自然観察会を開催しました。新緑の園内で、自然との多彩な出会いを体験することが出来ました。この日見られた植物の写真は、HPにアップするとともに、学習展示館に掲示しています。どうぞ、ご覧下さい。 指導 中村正志 ボランティア 百合澤博文、竹田正彦

6月18日(土)~19日(日)「森を守ろう!山陰ネットワーク会議」地域別研修「島根東部」

ふるさと森林公園学習展示館において、「森を守ろう!山陰ネットワーク会議」地域別研修「島根東部」を開催しました。出雲市林業振興協議会、森の仲間、しまねフォレストネットワーク出雲、里山を育てる会、しまね木質ネットワーク、もりふれ倶楽部、山陰合同銀行の7団体19名が参加しました。初日の活動発表会は、木質ネットの山下先生が熱烈的なパフォーマンスを披露され、懇親会は民謡も飛び出す打ち解けようでした。翌日はネイチャートレイリングと笹巻きづくりに取り組み懇親を深めました。 指導 野々村俊成



6月19日(日) 里山ものづくり体験

島根県立ふるさと森林公園学習展示館の来館者の希望者に対して「笹巻きづくり」の指導をおこないました。 指導 野々村俊成



6月21日(火) 島根県緑の少年団総会研修対応

ふるさと森林公園学習展示館において、島根県緑化推進委員会主催島根県緑の少年団連盟総会後の指導者講習会で、約40名県内の小中学校の先生に対して「自然観察会」、「森林保全の講義」、「ネイチャーゲーム」の指導を行いました。 指導 榎原道夫、中村正志、野田真幹

6月22日(水)雲南市立西日登小学校対応2

雲南市立西日登小学校5年生9名に対して、学校林で、「樹木学習」の指導を行いました。この事業は緑の募金の助成を得て行われています

指導 中村正志、宮崎徳子

6月23日(木)まね森づくりコミッション出前講座8

しまね森づくりコミッションの出前講座の一環として、美郷町立大和中学校1年生16名に「森林の大切さの講義」をおこないました。

指導 野田真幹



6月25日(土)森林ボランティア(飯南町)

飯南町下来島の「セラピーの森」において、「1日限りの作業班」シリーズの一環として、間伐後生えてきた実生苗の回りの草を手鎌で刈る作業を行いました。この事業には、緑の募金が使われています。

スタッフ 野々村俊成、青木宣雄、竹田正彦、田口孝道、立野直樹、和田秀夫、谷口枝里子、中村正志、竹下健二、野田真幹



6月26日(日)松江市楽山公園自然観察会

松江市樹木マップ作製実行委員会、松江市と共同主催で、松江市楽山公園において、自然観察会を開催しました。

スタッフ 洲濱寿晴、廣江百合子、野口朱美、大島辰也、高橋光二、中村正志、福岡茂明、野田真幹



6月28日(火)しまね森づくりコミッション出前講座9

しまね森づくりコミッションの出前講座の一環として、奥出雲町立馬木小学校5年生15名に「森林の大切さの講義」、「樹木観察」、「ネイチャーゲーム」の指導をおこないました。 指導 中村正志、野田真幹、

6月30日(木)しまね森づくりコミッション出前講座10

しまね森づくりコミッションの出前講座の一環として、出雲市立日御碕小学校3,4年生6名に「森林の大切さの講義」、「木切れ工作」の指導をおこないました。 指導 野田真幹、宮崎徳子



7月2日(土)森の健康診断リーダー研修

津和野町での森の健康診断開催を目指し、益田市・津和野町等からの11名の参加者に対して、森の健康診断リーダーとなるための研修をおこないました。 指導 野田真幹



7月3日(日)第3回里山自然塾

~初夏の里山で草木染め教室~

島根県からの委託事業「第3回里山自然塾初夏の里山で、草木染め教室!」を開催しました。参加者22名は、フジの葉、ヒノキの皮、キハダの樹皮の染料に漬けた布を、ミョウバン、銅、鉄と3種類の媒染剤で染めた中から選んで、ハンカチを染めました。

講師 影山和美 ボランティア 木村京子

7月4日(月)~6日(水)「緑の雇用」現場技能者育成対策フォレストワーカー集合研修対応

森林組合や林業事業体の1~2年目の現場職員約20名を対象に、「下刈」「除伐」「危機管理」等の講義と実習の指導を行いました。

指導 園山忠実、中村正志、野田真幹



「神話の里・さくらおろちの食べごと塾」

地元で4回、ふるさと森林公園で4回開催されます！

- ・さくらおろち湖周辺に伝わる「食」のスタイルと技を、斐伊川上流域の地元住民と下流域住民が交流しながら食資源の素晴らしさを再発見する「さくらおろちの食べごと塾」を年8回程度、さくらおろち湖（尾原ダム）周辺と宍道湖岸の松江市宍道町ふるさと森林公園で開催します。
- ・基本的には、土日祝日の10時から15時開催とし、内容は、食メニューの調理体験と試食、その背景となる農林漁家の営みの学習等です。
- ・参加者は公募し、毎回20人定員で募集し10人まで超過可とします。
- ・参加費は、各回千円を予定しています。（昼食付）
- ・さくらおろち湖周辺開催に関しては、松江からのマイクロバス送迎も実施予定です。

予定プログラム

第1回 8月20日（土） 10時～15時 会場：ふるさと森林公園学習展示館 ～松江市宍道町	第1幕オープニング さくらおろち湖周辺の豊かな「食」の紹介と「飛竜頭」づくり	・さくらおろち湖周辺の「食」をめぐる歴史について ・「飛竜頭」の紹介と調理体験 ・「神話の里さくらおろち・食の学び舎」プロジェクトについて
第2回 9月25日（日） 10時～15時 会場：雲南市温泉高齢者活動促進施設	「豆腐」づくりとそれをめぐる地域文化 「食」に花を添える竹食器の簡単な作り方	・地元加工グループの紹介 ・「豆腐」づくり ・「豆腐」をめぐる地域文化について ・竹食器づくり
第3回 10月30日（日） 10時～15時 会場：奥出雲町三沢公民館	「煮しめ」づくりとそれをめぐる地域文化について 農家から学ぶ「芋」	・地元加工グループの紹介 ・「煮しめ」づくり ・「煮しめ」をめぐる地域文化について ・農家から学ぶ「芋」 ・「芋」の収穫体験
第4回 11月27日（日） 10時～15時 会場：ふるさと森林公園学習展示館 ～松江市宍道町	「すもじ」と「焼きもち」づくりとそれらをめぐる地域文化について 農家から学ぶ「干し大根」づくり	・「すもじ」と「焼きもち」づくり ・「すもじ」と「焼きもち」をめぐる地域文化について ・農家から学ぶ「干し大根」づくり
第5回 12月18日（日） 10時～15時 会場：ふるさと森林公園学習展示館 ～松江市宍道町	もちつきと「豆もち」づくりとそれらをめぐる地域文化について さくらおろち湖周辺の年越しと正月を巡る「食」文化について	・もちつき ・豆もちづくり ・さくらおろち湖周辺の年越しと正月を巡る「食」文化について
第6回 1月15日（日） 10時～15時 会場：雲南市温泉高齢者活動促進施設	「七草かゆ」と「猪汁」づくりとそれらをめぐる地域文化について	・地元加工グループの紹介 ・「七草かゆ」と「猪汁」づくり ・「七草かゆ」をめぐる地域文化について ・春の七草の見つけ方 ・狩猟をめぐる地域文化について

第7回 2月19日(日) 10時~15時 会場:奥出雲町布施 の古民家(アトリエ の里)	さくらおろち湖周辺の 「食」への新しい取り組 み「コロッケ」他アレン ジの試み	・地元加工グループの紹介 ・「コロッケ」づくり ・地元素材をテーマにした?料理体験 ・新感覚の仕掛け人「食」を語る
第8回 3月3日(土) 10時~15時 会場:ふるさと森林 公園学習展示館 ~松江市宍道町	第1幕の「現代版 食の 神話づくり」の調理体験 付き報告会	・調理体験 ・「現代版 食の神話づくり」の報告会 ・春へ向けて「山菜」のメッセージ

自然相手のものですので、主旨の沿った範囲でメニューの変更もあり得ます。ご了承ください。

会員の皆様のご参加を心よりお待ちしております。参加は1回のみでもOKです!

お問い合わせ参加予約は、共同主催の NPO 法人さくらおろち電話0854-48-0729、担当土山・藤原まで、またはもりふれ倶楽部、担当:野田・宮崎まで

同時に実施! 「現代版 食の神話づくり」 失われてはならない「食」の記録お届けします!

- ・神話の里に今日も残る食文化を後世に伝えるためのデータベースづくりを行う。データは、70~80代の方を中心に昭和初期の食事の様子、その背景、伝承文化等を取材し、なるべく、聞いたままを文章に再現し記録してゆきます。
- ・その模様は、雲南市温泉地区・奥出雲町布施・三沢地区の自治会を通して、全戸配布する他もりふれ倶楽部HPで公開予定としています。



もりふれ倶楽部今後の予定

7月17日(日) 10時~15時 安来市立布部小学校学校林整備

森林ボランティア1日限りの作業班：遊歩道の草刈他

参加者募集中：1日中各自のペースで作業をします。参加費無料・昼食支給

持ち物~軍手・飲み物・雨天時は雨具・虫に弱い方は虫除け

前日正午まで申し込受けします。会員の方には、若干の交通費補助を支給します。場所のわからない方はご相談ください。

7月23日(土) 6時30分~8時30分 ふるさと森林公園学習展示館集合

第1回親子のための早朝自然観察会(自然を撮ろう!カメラを持って集まろう!)

3年間、森林公園で自然観察会をやり続けた、森林インストラクター中村正志氏が、感動的な自然との出会いへご案内します。大人も参加できますが、子供にターゲットを置いて解説します。

参加者募集中：参加費1000円 持ち物~カメラ持参をお勧め

前日正午まで申し込みをお受けします。

会員ボランティア募集中：6時~9時~若干の交通費補助支給

会員も参加者としても参加できます。ボランティア参加の場合その旨を申し込み時にお伝えください。当日、スタッフ的な役割をお願いいたします。

7月30日(土) 18時~ もりふれ倶楽部夏の交流会~愛媛の「竹林をよくする会」を迎えて

参加者募集中：参加費5,000円(宿泊費・懇親会費~懇親会のみ参加の方は3,000円)

場所：ふるさと森林公園学習展示館

最初にお互いの活動発表会を1時間程度おこない懇親会に入ります。

差し入れ大歓迎です!当日、宍道湖の花火大会の花火も見られる予定。

7月31日(日) 10時~15時 ふるさと森林公園学習展示館

第3回里山ものづくり体験「夏休み竹細工広場」(親子大歓迎)

参加お待ちしています。(事前申し込み不要)参加費300円

会員ボランティア募集中：9時00分~15時30分~若干の交通費補助支給

ボランティア希望者は前日正午までに必ず事前申し込みを!

7月31日(日) 16時~18時 ふるさと森林公園学習展示館

貴重な報告会「森林環境を改善する新たな試み」

講師：田中賢治氏(株)国土防災技術緑環境部長

5年間にわたる、田中賢治氏とNPO法人もりふれ倶楽部、仁多林研グループ等との「荒廃した森林土壌」改善へ向けての、間伐や竹林との関係も含めた調査と実験結果を踏まえた貴重な報告会です!

参加者募集中

参加費：無料~但し、事前申し込みが必要です。締切7月29日正午

8月20日(土) 10時00分~15時00分 ふるさと森林公園学習展示館

第1回「神話の里・さくらおろちの食べごと塾」

さくらおろち湖(尾原ダム)周辺の豊かな「食」の紹介と伝承料理「飛竜頭」づくり等もりふれ倶楽部とNPOさくらおろちの協働事業です。

参加者募集中

参加費：1,000円(昼食代込み)

定員：20名(申し込み順)

8月21日(日) 6時30分～8時30分 ふるさと森林公園学習展示館集合
第2回親子のための早朝自然観察会(自然を撮ろう!カメラを持って集まろう!)

3年間、森林公園で自然観察会をやり続けた、森林インストラクター中村正志氏が、感動的な自然との出会いへご案内します。大人も参加できますが、子供にターゲットをおいて解説します。

参加者募集中:参加費100円 持ち物~カメラ持参をお勧め
前日正午まで申し込みをお受けします。

会員ボランティア募集中:6時~9時~若干の交通費補助支給

会員も参加者としても参加できます。ボランティア参加の場合その旨を申し込み時にお伝えください。当日、スタッフ的な役割をお願いいたします。

8月21日(日) 10時~15時 里山自然塾「ヒノキの和紙と間伐材でランプシェードをつくろう!」

参加者募集中:参加費300円 場所:ふるさと森林公園学習展示館と園内
持ち物~弁当・飲み物 定員20名(申し込み順)

9月4日(日) 10時~15時 ふるさと森林公園「森林ボランティア講座」
第3回:刈り払い機の基本と実践を学ぶ

参加者募集中:参加費300円

持ち物~軍手・飲み物・雨天時は雨具・虫に弱い方は虫除け

持っておられる方は刈り払い機と燃料・工具を持参ください。

定員15名(申し込み順)



猛暑にも負けず、「セラピーの森」の下刈を終えたメンバー達

もりふれ倶楽部会報 NO.30

〒699-0406 松江市宍道町佐々布3352

ふるさと森林公園学習展示館内 もりふれ倶楽部

TEL(0852)66-3586 FAX(0852)66-3586

[メール morifure@coffee.ocn.ne.jp](mailto:morifure@coffee.ocn.ne.jp)

ホームページ <http://www.morifure.jp/>